

令和元年度 木の香る淡海の家推進事業実績の概要



令和元年 3 月

県産木材活用推進協議会

令和元年度 木の香る淡海の家推進事業実績

- 1) 元年度事業の概要
- 2) びわ湖材使用量の確認
- 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数
- 4) 工務店、納材業者別建築戸数

〈はじめに〉

平成 21 年度からスタートした助成金制度による「木の香る淡海の家推進事業」は 11 年目となった。この間、びわ湖材の流通拡大と安定取引を図るため、当事業の普及ならびに制度内容の周知に努めてきたところである。制度の定着とともに、製材業者や工務店からの当事業に対する期待はますます高まっており、当事業が県内の木材業界を力強く下支えしているとともに、びわ湖材の活発な流通に大きく寄与しているものといえる。

そういった中、昨年度までの木質内装化事業の内容が拡大され、今年度から始まった既存住宅等の木質化改修事業については、5 件の申請、実績となり、来年度以降さらに申請件数が増加するものと思われる。

新築助成ならびに木質化改修の助成を決定する審査会は月 1 回開催し、4 月から 1 月の間に計 10 回開催した。毎回実施される審査会は 7 名（森林組合連合会、建設業協会、建築士会、建築住宅センター、建築組合、木材協会、森林政策課）の審査員で構成され、締め切り後の早い時期に、提出書類を審査し、条件に合致し、不備がなければ助成を決定した。その後、決定者に対して、事業の目的、提出書類、現場確認、注意事項等について個別に説明することに努めた。

1) 令和元年度事業の概要

滋賀県における森林の多面的機能の発揮と「びわ湖材」の普及啓発及び円滑な流通を促進するため、以下の内容で事業を行った。

①新築助成

(助成の内容)

区 分	1 戸当たりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5 m ³ 以上 15 m ³ 未満	30 万円	構造材 3 m ³ 以上使用
II	15 m ³ 以上	40 万円	構造材 5 m ³ 以上使用

- ・ 1 戸建て専用住宅等（事務所、商店が対象に追加）で、バリアフリーに配慮
- ・ 構造材とは、土台、大引、柱（通、管）、梁（小屋梁含む）、桁、胴差、母屋、棟木、隅木、小屋束、火打、方づえ等とする。
- ・ びわ湖材製品も助成対象とする（針葉樹合板、集成材

②既存住宅等木質化改修

(助成の内容)

区 分	1 m ² あたりの助成金額	備 考
既存住宅等の木質化改修	3千円	助成金上限額は、1戸あたり20万円とする。 なお、算出した助成金の金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

※「木質化改修」とは、既存住宅等の内装、外装の改修および耐震改修をいう。

- ①「内装」とは、住宅内部の床面、壁面、および天井面をいい、「外装」とは住宅外部の壁面等をいう。
- ②「内外装仕上材」とは、内装および外装の仕上げとして施工される厚さが9ミリメートル以上のびわ湖材またはびわ湖材製品である板類等をいう。
- ③「耐震改修」とは、びわ湖材等の柱材、平割材、構造用合板等により補強することをいう。

2) びわ湖材使用量の確認

■書類審査

工務店から提出していただく申請書には、びわ湖材使用計画書及び貼付図面（平面図、立面図、伏せ図等）に使用箇所、部材名、寸法、規格が分かるようにしておくとともに、納材業者（びわ湖材取扱業者）の納材確約書の添付を義務付けている。

■現地確認

上棟、または改修工事が終了し、びわ湖材の使用が概ね完了した時点で、現地の確認を協議会が実施している。この時、びわ湖材証明書の提出を義務付けている。

現地確認は、申請書類（主にびわ湖材利用計画書）に基づき実施しているが、申請時と棟上時で使用量が異なる場合は、実際の利用実績を提出させ、それに基づき確認を行っている。

3) 募集期間と助成決定・確定状況、地域（市町）別確定戸数

令和元年度の募集時期は、第1回目を4月1日から4月19日、第2回目を4月20日から5月31日までとし、その後、11月までは毎月月末締めとし、12月は20日を締切りとしたが、今年度は審査会の意見により募集をひと月延長することとし、1月31日まで合計10回の募集を行った。

①募集期間と助成の決定状況

(新築等助成)

募集回	募集期間	助成決定戸数	
		新築等	木質化改修
第1回募集	4月1日～4月19日	15	0
第2回募集	4月20日～5月31日	18	2
第3回募集	6月1日～6月30日	18	0
第4回募集	7月1日～7月31日	11	1
第5回募集	8月1日～8月31日	9	0
第6回募集	9月1日～9月30日	16	0
第7回募集	10月1日～10月31日	13	0
第8回募集	11月1日～11月30日	13	2
第9回募集	12月1日～12月21日	9	0
第10回募集	1月1日～1月31日	4	0
合計		126	5

②助成確定状況（助成実績）

(新築等助成)

びわ湖材使用数量別実績戸数（戸）			助成額 （千円）	びわ湖材使用量 （m ³ ）
7.5 m ³ ～15 m ³ 未満	15 m ³ 以上	計		
99	27	126	40,500	1340.25

(木質化改修)

助成実績戸数（戸）	助成額（千円）	内装木質化面積（m ² ）
5	1,000	489.0

地域（市町）別 助成確定戸数（ ）内は内装木質化（単位：戸）

大津市	16	草津市	3(1)	野洲市	0
彦根市	8(1)	守山市	4	湖南市	2(1)
長浜市	45	栗東市	1	高島市	5(1)
近江八幡市	6	甲賀市	5	東近江市	5
米原市	13	日野町	0	愛荘町	3
甲良町	1	多賀町	7(1)	竜王町	1
豊郷町	1				
実績合計 126 (5)					

新築については、長浜市が 45 戸 (35.7%) と最も多く、次に大津市が 16 戸 (12.7%)、米原市 13 戸 (10.3%) と続く。この 3 市で全体助成件数の 58.3% を占めた。特に大津市は昨年の 5 戸から 3.2 倍の 16 戸と大幅な増加となっている。

また、日野町と野洲市を除く 17 市町で本事業が活用されており、広く県域全体で利用が進んでいることがうかがえる。

木質化改修では、助成件数が 5 件と昨年の 2 件から 2.5 倍の伸びとなった。

4) 工務店 (建築戸数)、納材業者 (びわ湖材納入材積、納入戸数)

工 務 店

	単位：戸
(株)安田工務店	17
内保製材(株)	11
橋本不動産(株)	10
(株)マルト	5
あしづかホーム(株)	5
匠堂合同会社	5
材栄製材(株)	3
(有)西川技建工業	3
(株)トヨケン	3
(株)アルファ工房	3
(株)坂田工務店	3
その他 (1戸～2戸)	65
計 (66 工務店)	126

納材業者

	m ³	戸
(株)スンエン長浜	232.51	27
(株)スンエン関西	185.83	22
内保製材(株)	125.35	11
鳥居木材(株)	111.31	7
丸松木材(株)	80.51	10
(株)八興	67.03	8
(株)滋賀原木	64.54	7
三栄木工(株)	57.56	2
甲賀林材(株)	55.08	6
中尾木材工業(株)	48.88	2
下村木材(株)	40.00	3
その他 17 事業体		21
計 (28 事業体) (1,340 m ³)		126

